

留学体験レポート

21015104 平松美衣奈

私は約4か月間韓国の慶熙大学へ留学してきました。私自身海外に行くのは初めてだったし、それまでの自分の韓国語能力にも自信がなかったので、他の国の学生と仲良くなれるか、授業についていけるかなど、留学に行くまではとても不安でした。しかし向こうで生活していくうちにいつのまにか韓国にも学校にも慣れ、友達もでき、とても充実した留学生活となりました。その中でも印象に残っていることなどをいくつかまとめたいと思います。

まずは食事についてです。韓国と言えば辛い食べ物が真っ先に思い浮かぶと思いますが、やはり行ってみると辛い食べ物が本当に多いです。もちろん辛くないものもあるのですが、よく食べていた学食の定食は、おかずや汁物ほとんどが辛い日もあったので苦手な人は食べられるものを選んで食べていました。しかし辛いのが苦手な人が生活に困らない程度には辛くないものもあるので大丈夫だと思います。私は辛い食べ物が好きなので食事について困ることはあまりありませんでしたが、韓国の食べ物は味が濃いものが多いので食事の際には常に水分をとっていたような気がします。また、韓国はカフェが本当に多いです。値段は少し高めですがおいしくて、お店も可愛かったり雰囲気良かったりするところが多いので、休日は友達とカフェ巡りをしたり、テスト前に学校近くのカフェで勉強したりしました。慶熙大学の近くにもカフェはたくさんあります。かわいいカフェに行くのが留学中の一つの楽しみになっていました。しかし、行きたいカフェ全部に留学中に行けなかったのが少し残念でした。

次に友人との交流についてです。私はこの留学で様々な国の友達ができました。最初の3週間コースは、参加者の多くが日本人なので外国の友達も、韓国語を使うことも少ないのですが、そのあとの10週間コースではクラスのほとんどが外国人なので、色んな国の友達ができ、韓国語を使う機会も自然と多くなります。私のクラスはアジア人が多かったのですが、特に仲良くなったのは香港人とマカオ人の子でした。彼女たちとは一緒に出掛けたり、ご飯を食べたり多くの時間を過ごしました。お互い習った韓国語で何とか伝えようとするので、韓国人と話すのとはまた違った勉強になります。またそんな楽しい思い出の中でも、歴史や国際的な問題について話すこともあって、外国人の意見を初めて直接聞いたことは本当に貴重な体験だったと思います。今でもそのクラスメイト達とは連絡をとりあっています。韓国での友人との交流において、一つ後悔していることは韓国人の友達があまりできなかったことです。普通に生活していると留学生同士は自然と仲良くなるのですが、韓国人とはトウミくらいしか交流がありませんでした。韓国人の友人もできたのですが帰国が近くなってからだったので、もっと早く交流会に参加するなど積極的に行動しておけばよかったと思いました。これはすべてに関して言えることなのですが、留学生活は長いようであつというまだったので、やりたいことをもっとするべきだったなと感じます。

こうした後悔もありましたが、留学は全体を通して本当に行って良かったと思えるものになりました。語学の上達だけでなくもっと多くのことを学んでいくことができたのでは

ないかと思ひます。この約4か月間は自分の人生でかけがえのないものになりました。